

農のあるまち♥ねりま



MINI BOOK

ここでは載せきれない情報を
WEBサイトで公開中!



発行元:練馬区広聴広報課 TEL:03-5984-2693
発行日:令和2年12月1日

とれたて^{かな}♡シティで叶う、 ちょうどいい暮らし。

いろんなところに畑があって、いろんな作物が育てられている

「とれたて♡」のまち、ここ練馬。

自分たちで栽培や収穫を体験することもできるし、

旬のおいしさに出会えるお店だって、あちらこちらに。

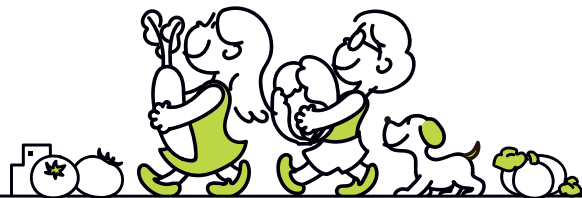
しかも練馬は、お買い物や交通アクセスも便利なシティ(都市)。

とれたて♡を楽しみながら、家族みんなが快適に暮らせる。

今の時代に合った、“ちょうどいいまち”かもしれません。

とれたて♡シティの、ちょうどいい毎日。

あなたもここ練馬で、体験してみませんか？



〇ここがスゴイ!

練馬区の注目データ/

練馬区の人口は、

23区で**No.2**

練馬区の人口は、23区では世田谷区に次いで2番目、全国でも20位に入る自治体です。練馬区はこれからも暮らしやすく、住民にやさしいまちであり続けます。

世田谷区 (92.1万人)

練馬区 (74.0万人)

大田区 (73.5万人)

江戸川区 (69.6万人)

23区でトップ5に入る 広大な面積!

練馬区は23区の総面積の約7.7%を占め、23区の中で5番目の広さです。東西約10km、南北4~7kmのほぼ長方形の形と、高低差が少ないなどらかな地形が特徴です。

大田区 (60.83km²)

世田谷区 (58.05km²)

足立区 (53.25km²)

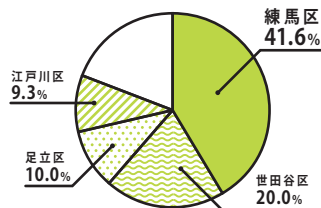
江戸川区 (49.09km²)

練馬区 (48.08km²)

農地面積が、

23区で**No.1**

23区にある農地面積のうち、4割が練馬区に集まっており、その面積はなんと199.69ha(東京ドーム約42個分)。都心で農がしっかりと根付いているのは、練馬区ならではの最大の魅力です。



初心者でも安心な 練馬区の「とれたて♡」体験／

農業体験農園



「農業体験農園」は農家が開設し、耕作の指導を行っている農園のこと。農園主の丁寧な指導を受けながら、野菜づくりを体験することから、ビギナーの方からも人気を集めています。

区民農園



区が農家から借りた農地を整備して、区民に貸し出している「区民農園」。家の近所で気軽に野菜や花の栽培を楽しめる場として子どもから年配の方まで、幅広く親しまれています。

練馬果樹あるファーム



「練馬果樹あるファーム」ではブルーベリーをはじめ、ブドウ、カキ、キウイフルーツ、イチゴなど、たくさんの果実が生産されています。果樹の摘み取りや直売所での購入ができるので、果物のある生活を手軽に楽しめます。

あなたの 家の近くで「とれたて♡」を／

農産物直売所



まちのあちこちに点在するのが、農産物を気軽に買える野菜ロッカーこと「農産物直売所」です。好きなときにさくっと寄れるので、「とれたて♡」野菜がより身近な存在に。

JA東京あおばの農産物販売所



練馬区内4か所にある「JA東京あおばの農産物販売所」では、地域の「とれたて♡」が大集合しています。野菜やフルーツに加えて、お花や植木なども購入できます。

マルシェ



公園や駅前など区内のさまざまな場所で、生産者から農産物を直接買える「マルシェ」が開かれています。食材に関する情報を直接聞けるのも魅力のひとつです。

※令和元年度どこでもマルシェの様子

TOKYO とれたて♡ポイス in 練馬



「練馬ぐらし」を深掘り!

「練馬ぐらし」とは、練馬区ならではの暮らしを行うこと。そんな「練馬ぐらし」を実践している方々へインタビューを行いました。農に関わっているからこそわかる練馬区らしさや、練馬区だから体験できることなど、その魅力をたっぷりお届けします。

インタビューの全文は
WEBサイトで公開中!



野菜も人間関係も畑で育んだ、 私の人生が変わった場所。



長島良介さん

野菜づくりを始めて16年

妻が勝手に応募した体験農園がきっかけで、今ではすっかり土いじりが趣味になっています。そこでの出会いでPTA会長を任されることになり、地域活動に参加する中で、土に根を張るように人とのつながりが広がっていきました。積極的に地域と関わるのは、思いのほか楽しいですよ。

農業が盛んなこと。そこに可能性を感じる人が増えていると思います。



酒井利博さん・雅博さん

区内の農業を親子で支える

消費者が近くにいることが活路になっていて、観光農園なども盛んです。最近は飲食店と連携する農家や練馬産野菜が子ども食堂で使われたり、生活者との接点が増えてきました。さらに農地は避難場所にもなるんですよ。農業がある練馬のイメージを守っていききたいですね。

都会過ぎないので子育てしやすいし、 新鮮な野菜が身近なのも嬉しいですね。



今井桃香さん・晴葵くん

練馬生まれ、練馬育ち

生まれも育ちも練馬区なので、畑のある風景は小さいころから見慣れています。昔から野菜は直売所で買っていて、息子にも練馬産野菜を食べさせています。いい意味で都会過ぎないところが練馬区の魅力だと思います。公園も沢山あるので子育てもしやすい環境ですよ。



練馬区でとれた新鮮な食材を使って「おいしい♥」を届けているお店がいっぱい。栄養満点な季節の食材が、さらにおいしく育まれています。ぜひ、練馬区ならではの味を楽しんでみてください。

お店と農家のつながりを描く動画をWEBサイトで公開中!



NERIMA OYSTER BAR

新鮮な野菜が
牡蠣との相性抜群!



牡蠣と練馬野菜のハーモニー



Info
NERIMA OYSTER BAR
住所:練馬区桜台1-6-7桜台壹番館1F
tel:03-6915-8641

この辺りでは珍しい牡蠣専門店です。こだわりの練馬産野菜は、いろんな方の野菜を使わせてもらっているのですが、特にお世話になっているのは五十嵐農園さん。仕入れる際に調理法のアドバイスをもらえたりもします。今後も農家さんと協力しながら食の楽しさを伝えていきたいですね。



仕入れ農家はこちら

五十嵐農園 五十嵐宏さん
キャベツや大根など、年間30種ほど栽培しています。
軒先販売で、パジルやプリンなども置いていますよ!

Chinese Tapas hachi

旨味たっぷりの豚肉と
芯まで食べられる
キャベツが絶品!



しずはまキャベツとイペリコ豚の回鍋肉

野菜は農家さんと直接話をして仕入れるようにしています。回鍋肉に入っているキャベツは新鮮で、芯までおいしく食べられますよ。練馬産野菜を無駄なく活用し、中華料理店の強みを活かしておいしく料理していきたいです。



Info
Chinese Tapas hachi
住所:練馬区大泉学園町1-1-9
第二パールハイイツ1F
tel:03-6311-0672

仕入れ農家はこちら



練馬四季畑
村田豊さん

冬のキャベツは
甘く、春は柔ら
かいので季節ご
とのおいしさを
楽しめます!

フルーツパーラー ゴトー



季節のフルーツを
たっぷり使った
芸術的なパフェ!

※季節によって
メニューが異なります。

東京都の5種の柿のパフェ

秋は莊埜園さんでとれた柿を使用したパフェが一番人気です。お客さまも東京で柿がとれることに驚かれる方は多いですね。生産地が近いからこそ一番おいしい状態で提供できるので、私たちにとってもお客さまにとっても嬉しいことだと思っています。



Info
フルーツパーラー ゴトー
住所:台東区浅草2-15-4
tel:03-3844-6988

仕入れ農家はこちら



莊埜園
莊埜晃一さん

栽培している数
種の甘柿は、硬
さや水分量が違
うのでお好みを
お伝えください!



練馬区は 自然がいっぱい



緑被率、

23区 **No.1!**

緑被率とは、みどりの量を示す指標のこと。「樹木で覆われている部分」や「草地」、「農地」などの緑被地の面積が区域の面積に占める割合を表します。練馬区は緑被率が24.1%も！

緑被率

24.1%

「住みよいと感じる
ところは？」
ランキングTOP3!



みどりが豊かで
環境がよい



交通の便がよい



治安が比較的よい

みどりが多いと

住みやすい!

「住みよいと感ずるところ」をヒアリングした区民意識意向調査では、「みどりが豊かで環境がよい」という回答が1位の結果に。みどりに囲まれた生活をするとうちもちも安らぎ、自然と生活の質もアップ!

子どもたちが

遊べる場所もたくさん!

練馬区は公園・児童遊園の数が23区内で第1位! その数はなんと689か所。子どもたちが遊べる場所がたくさんあるので、子育て中の方も安心です。



689 か所

広大な樹林地

「憩いの森」「街かどの森」

区内に残る樹林地などを所有者から借りて開放しているのが「憩いの森」と「街かどの森」。「憩いの森」は1000㎡以上、「街かどの森」は300㎡以上1,000㎡未満の土地を指します。

45 か所

都心でありながらも農が根付き、豊かな自然に恵まれている練馬区。練馬区だからこそできる体験を暮らしの中に取り入れて、「練馬ぐらし」を満喫してみてくださいね!

